

# 浄水管理センター管理棟外壁改修工事

## 仕様書

### 1 業務目的

本工事は、浄水管理センター管理棟（以下「管理棟」という。）の外壁改修工事をする 것을目的とする。

改修工事にあたっては、設計図書に従い十分な安全管理のもと、処理場の運営に影響が出ないように施工すること。

### 2 施行場所

逗子市桜山 9 丁目 2448-4

### 3 工事内容

直接仮設工事、外壁改修工事、増築棟外壁改修工事

※ 工事仕様、工事条件等の詳細は別紙設計図書による。

### 4 工事期間

契約日～令和 8 年 3 月 31 日

### 5 提出書類

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 着工前    | 工事着手届、現場代理人及び主任技術者等選任届及び経歴書、工程表、<br>施工計画書及びその他必要な書類 |
| (2) 各工事着手前 | 施工計画書、施工承認図、材料承認願及びその他工事に必要な書類                      |
| (3) 完成後    | 完成図書（別紙 1 による）                                      |

### 6 施工時間

作業日：月曜～金曜（土、日曜日を除く）

作業時間：8 時 30 分～17 時 00 分

### 7 共通仕様書の適用

本工事は、国土交通省官庁営繕部及び地方整備局等営繕部が制定した最新の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）に基づき実施するものとする。

### 8 環境への配慮

この工事を実施するにあたり、逗子市の自然環境と生活環境への負担を軽減するため、別紙「逗子市の建築・土木工事に係る環境配慮指針」に基づき実施するものとする。

## 9 建設副産物に係る特記仕様

建設副産物に係る特記仕様については、別紙「建設副産物に係る特記仕様書」によるものとする。

## 10 個人情報の取扱いに関する特記仕様

個人情報の取扱いに関する特記仕様については、別紙「個人情報の取扱いに関する特記仕様書」によるものとする。

## 11 遵守事項

- (1) 施工承認図は設計図書・工事内訳書に基づき、平面詳細図等を作成すること。
- (2) リサイクルについては「逗子市の建築・土木に係る環境配慮指針」及び「建設リサイクル法」に基づき処理し、実績を指定の書式で提出すること。
- (3) 工事用車輛の通行に際しては、交通管理者の指示・指導に従うとともに、交通誘導員を配置し、交通整理を適切に行うこと。
- (4) 契約後速やかに周辺住民に周知するためのチラシを作成し、通知すること。
- (5) 本仕様書及び設計図書にないもの及び工事の進捗上、疑義が生じた場合には、監督員と協議し指示に従うこと。

<b>I 工事概要</b>				
1. 工事場所	逗子市桜山9丁目2448-4			
2. 敷地面積	21200 m <sup>2</sup>			
3. 工事種目	棟名称 逗子市浄水管理センター 管理棟			
	構造 RC造 / 地下2階 地上3階建 塔屋1階			
	建築面積 1178.8 m <sup>2</sup>			
	延べ面積 5573.4 m <sup>2</sup>			
	工事項目 外壁改修工事、増築棟外壁改修工事			
4. 工事内容	塗膜防水、下地補修、塗装			
5. 工事範囲	今回の建築工事の工事内容は、下表において、■印のものとする。詳細は、仕上げ表、工事区分一覧表及び図面による。			
工事内容	前回工事	今回工事	次回工事	備考
防水改修				
外壁改修		■		
建具改修				
内装改修				
塗装改修				
耐震改修				
環境配慮改修				

<b>II 工事仕様</b>				
1 共通仕様				
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記による。				
1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」(以下「標準仕様書」という。)による。				
2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」(以下「改修標準仕様書」という。)				
(2) 低入札価格調査対象工事について				
1) 施工体制台帳の写しの提出及びその内容のヒヤリング				
調査基準価格を下回った価格で契約する場合には、受注者は主任監督員の求めに応じて、建設業法(昭和24年法律第100号)第24条の7第1項に規定する施工体制台帳の写しを主任監督員に提出しなければならない。				
2) 施工体制台帳の写しの提出に際して、その内容のヒヤリングを監督員から求められたときは、受注者はこれに応じなければならない。				
3) 施工計画書のヒヤリング				
調査基準価格を下回った価格で契約する場合には、一般仕様書に基づく施工計画書の提出に際して、その内容のヒヤリングを主任監督員から求められたときは、受注者はこれに応じなければならない。				
2 特記仕様				
(1) 特記事項の各項目は、項目番号の前に■印の付いたものを本工事に適用する。				
(2) 特記事項に記載される内容が複数ある事項については、■印の付いたものを適用し、□印の付いたものは適用しない。				
(3) 使用材料で複数の材料に■印が付いたものは、図面による。				
(4) 特記事項に記す各種( )は、一般仕様書等の各条項等を示しその適用は次のとおりとする。				
1) < >は、「一般仕様書」の当該条項を示す。				
2) ( . . )は、「標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す。				
3) [改 . . ]は、「改修標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す。				
(5) Gは、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)に規定される特定調達品目を示す。				
(6) 標準仕様書で特記がない場合の処置を明示している場合で、それらが関係法令等(条例を含む)に抵触する場合には、関連法令等の遵守(一般仕様書第147条)の規程を優先する。				
3 その他				
表題欄に記載されている縮尺はA1版に対応するものであり、A3版の場合は読替を行うものとする。				
石綿障害予防規則に基づく解体等の作業を行うときは、事前調査を行い、改修標準仕様書9.1.1(d)(1)により調査結果を監督職員へ提出する。調査の結果、設計図書と異なる場合は、改修標準仕様書9.1.1(d)(2)による。				

<b>I章 一般共通事項</b>	
一般事項	
■ 1 適用基準等	
<input checked="" type="checkbox"/> 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) <input type="checkbox"/> 下水道施設標準図(詳細)土木・建築・建築設備(機械)編 (日本下水道事業団 平成25年度) <input type="checkbox"/> 建設リサイクル法に関する工事実施要領 (日本下水道事業団) <input checked="" type="checkbox"/> 建築物解体工事共通仕様書・同解説 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)	
■ 2 本工事における適用特記工事種別	
<input checked="" type="checkbox"/> 仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 防水改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> 外壁改修工事 <input type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ外壁の改修 <input type="checkbox"/> モルタル塗り仕上げ外壁の改修 <input checked="" type="checkbox"/> タイル張り仕上げの外壁の改修 <input type="checkbox"/> 塗り仕上げ外壁等の改修 <input type="checkbox"/> 建具改修工事 <input type="checkbox"/> 内装改修工事 <input type="checkbox"/> 塗装改修工事 <input type="checkbox"/> 耐震改修工事 <input type="checkbox"/> 環境配慮改修工事 <input type="checkbox"/> ユニット及びその他工事 <input type="checkbox"/> 土工事 <input type="checkbox"/> 地業工事 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根工事	
■ 3 主任技術者等	
<input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない	
■ 4 技能士	
適用工事種別	
工事別	適用種別
防水改修工事	<input checked="" type="checkbox"/> 防水施工 <input type="checkbox"/> アスファルト防水工事 <input type="checkbox"/> 改質アスファルトシート工法防水工事作業 <input type="checkbox"/> 合成ゴムシート防水工事作業 <input type="checkbox"/> 塩化ビニルシート防水工事作業 <input type="checkbox"/> シーリング防水工事作業 <input checked="" type="checkbox"/> ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> アクリルゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> 左官 <input type="checkbox"/> 建築板金(内外装板金作業)
外壁改修工事	<input type="checkbox"/> 左官 <input type="checkbox"/> タイル張り <input checked="" type="checkbox"/> 塗装(建築塗装作業) <input type="checkbox"/> 樹脂接着剤注入施工
建具改修工事	<input type="checkbox"/> サッシ施工 <input type="checkbox"/> ガラス施工 <input type="checkbox"/> 自動ドア施工
内装改修工事	<input type="checkbox"/> 内装仕上げ施工 <input type="checkbox"/> プラスチック系床仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> カーペット系床仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> 鋼製地下工事作業 <input type="checkbox"/> ボード仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> 防水施工(シーリング防水工事作業) <input type="checkbox"/> 建築大工 <input type="checkbox"/> 左官 <input type="checkbox"/> タイル張り
塗装改修工事	<input type="checkbox"/> 塗装(建築塗装作業)
耐震改修工事	<input type="checkbox"/> 鉄筋施工(鉄筋組立て作業) <input type="checkbox"/> 型枠施工 <input type="checkbox"/> とび <input type="checkbox"/> コンクリート圧送施工
ブロック、ALC工事	<input type="checkbox"/> ブロック工事施工 <input type="checkbox"/> ALCパネル施工
石工事	<input type="checkbox"/> 石材施工(石張り施工)
■ 5 環境への配慮	
(1) グリーン購入法により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。	
(2) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1)から4)までを満たすものとする。	
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。	
2) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。	
3) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。	
4) 上記1)の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	
5) 上記 1)から4)の「ホルムアルデヒドの放散量」は、6)の規制対象外(規制値をクリアする規格品・認定品)を適用する。	
6) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。	
規制対象外(規制値をクリアする規格品・認定品)	
① 建築基準法施行令第20条の7第1項、第2項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料	
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	
第三種	
① 建築基準法施行令第20条の7第2項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料	
② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	
(3) 工事に使用する各種材料については、アスベスト含有建材を使用しない。	

<input checked="" type="checkbox"/> 6 材料の品質等 (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマークの表示がない材料は、監督職員の承諾を受ける。 (2) 製造所名及び製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 (3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」(以下「評価名簿」という。))によると記載された材料は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。この場合、評価書の写しをもって、「標準仕様書」1.4.2(b)に規定する「設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料」の提出を省略することができる。  「評価名簿による」と特記されていない場合でも優先して採用するものとする。		
<input checked="" type="checkbox"/> 7 特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。		
<input type="checkbox"/> 8 建築機械設備工事、建築電気設備工事及び関連する機械設備工事、電気設備工事との取合い 施工範囲 <input type="checkbox"/> 工事区分一覧表及び表一工事区分表による <input type="checkbox"/> [ ] 施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。		
<input checked="" type="checkbox"/> 9 GL 現状GL (TP m) 設計GL (TP 14 m) 埋め戻し後GL (TP m)		
<input type="checkbox"/> 10 建築基準法による条件 風速 Vo ( ) 地表面粗度区分 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV 垂直積雪量 ( m) 1cmごとの単位荷重 ( N/m <sup>2</sup> )		
<input type="checkbox"/> 11 再生資材の利用 受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。		
資材名	規格	備考
使用箇所は図示による。		
<input checked="" type="checkbox"/> 12 特定建設資材の分別解体等・再資源化等 <input checked="" type="checkbox"/> 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)、以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。 ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。		
<input checked="" type="checkbox"/> 本工事は、「建設リサイクル法」による規模について、「対象建設工事」に該当しないが、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施については、建設リサイクル法に準じ適正な措置を講ずることとする。		
1) 分別解体等の方法		
工程	作業内容	分別解体等の方法(解体工事のみ)
① 造成等	造成等の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
② 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
③ 上部構造部分	上部構造部分・外装の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
④ 屋根	屋根の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑤ 建築設備	建築設備・内装等の工事(建具) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑥ その他	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地		
特定建設資材廃棄物の種類	施設名称	所在地
コンクリート		
コンクリート及び鉄からなる建設資材		
※上記 2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。		
3) その他 <input type="checkbox"/> ( )		
<input type="checkbox"/> 13 一般/産業廃棄物の搬出 建設工事の施工により発生する産業廃棄物は、下記の場所に搬出することとする。		
項目	施設名称	所在地
<input type="checkbox"/> 石膏ボード等		
<input type="checkbox"/> 仕上げ材等		
<input type="checkbox"/> [ ]		
搬出調査等 : 提出を義務付ける		
<input type="checkbox"/> 14 発生材の処理(引渡しを要するもの) <input type="checkbox"/> 金属類 <input type="checkbox"/> [ ] 特別管理産業廃棄物 <input type="checkbox"/> PCB <input type="checkbox"/> [ ]		
<input type="checkbox"/> 15 室内空気中の化学物質の濃度測定 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 なお、測定は委託団体が発注する別途工事又は家具の設置等が行われる前に行う。		
測定機器 : ハンジ型採取機器		
測定対象化学物質の管理値		
測定対象化学物質	厚生労働省の指針値(25℃の場合)	備考
<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド	0.08 ppm ( 100 μg/m <sup>3</sup> )	
<input type="checkbox"/> トルエン	0.07 ppm ( 260 μg/m <sup>3</sup> )	
<input type="checkbox"/> キシレン	0.2 ppm ( 870 μg/m <sup>3</sup> )	
<input type="checkbox"/> エチルベンゼン	0.88 ppm ( 3,800 μg/m <sup>3</sup> )	
<input type="checkbox"/> スチレン	0.05 ppm ( 220 μg/m <sup>3</sup> )	
測定対象室及び箇所数		
測定対象室	測定箇所数	測定対象室
<input type="checkbox"/> 事務室		<input type="checkbox"/> 研究室
<input type="checkbox"/> 会議室		<input type="checkbox"/> 書庫・倉庫など常時換気しない部屋
<input type="checkbox"/> 宿直室		
<input type="checkbox"/> 休憩室		
<input type="checkbox"/> 水質試験室		
<input checked="" type="checkbox"/> 16 完成写真 下記のもの監督職員に提出する。		
	撮影箇所数	部数
<input type="checkbox"/> カラーキャビネ版	外部( ) 内部( )	<input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> < >
		60×60以上(デジタルデータでも可)
<input checked="" type="checkbox"/> CD-ROM	キャビネサイズを200dpiの解像度で読みとりJPEG形式等で保存。箇所数はカラーキャビネ版と同じ	<input checked="" type="checkbox"/> 2
<input type="checkbox"/> カラーライド版	同上	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> < >
<input type="checkbox"/> カラーパネル	1箇所	<input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> < >
撮影業者 <input type="checkbox"/> 監督職員の承諾する撮影業者 <input type="checkbox"/> [ ]		
<input checked="" type="checkbox"/> 17 工事完成図等 <input checked="" type="checkbox"/> 製作する <input type="checkbox"/> 製作しない		
<input checked="" type="checkbox"/> 18 施工条件明示 <input checked="" type="checkbox"/> 執務並行改修 <input type="checkbox"/> 全館無人改修 <input checked="" type="checkbox"/> 施工時期 [ 令和7年11月4日 ~ 令和8年3月31日 ] <input checked="" type="checkbox"/> 施工時間 [ 9:00 ~ 17:00 ] <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導員 配置要員 3人 配置期間 10日		

□ 19 中間技術検査(一般仕様書第125条の中間技術検査)

(1) 「中間技術検査」とは、工事等の施工の途中において工事の主要な部分に対し施工状況、出来形、品質および性能が適正であることを確認する検査をいい、請負代金の支払を伴うものではない。

(2) 中間技術検査の時期(予定)

第一回 □ [ ] 工事着工前 □ [ ] 工事終了時

第二回 □ [ ] 工事着工前 □ [ ] 工事終了時

(3) 受注者は中間技術検査に立ち会わねばならない。

(4) 契約関係書類、設計図書、施工計画書及び中間技術検査時点までの工事管理記録等および検査に必要となる機器類の準備を行うこと。

□ 20 工事の一時中止

基本計画書の作成

(1) 契約書第20条の規定により、工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書(以下「基本計画書」という。)を提出し、承諾を受ける。基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関する事、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関する事及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

■ 21 発注図データの貸与

■ 貸与あり □ 貸与なし

(1) 完成図書作成等の利用に供するため、発注図面のCADデータを受注者に貸与する。

(2) 提供するCADデータは、本工事の施工以外の目的に使用してはならない。

(3) 図面とCADデータの内容に相違がある場合、図面の内容が優先する。

□ 22 JS版工事情報共有システムの利用

原則として、本工事はJS版工事情報共有システムを適用する。対象工事の詳細については、「JS版工事情報共有システム(JS-INSPIRE)活用マニュアル(日本下水道事業団)」(URL:https://www.jswa.go.jp/inspire/manual.pdf よりダウンロード可能)による。

■ 2章 仮設工事

特記事項

■ 1 足場その他

内部足場 種別 □ 図示による □ きゃたつ、足場板等 □ [ ] [改2.2.1]

外部足場 種別 ■ 図示による [改2.2.1][改表2.2.1]

防護シートの設置 □ 行う □ 防音シート □ 防音パネル

■ 養生シート

□ 行わない

材料、撤去材等の運搬方法 [改2.2.1][改表2.2.2]

■ A種 ■ B種 □ C種 ■ D種 ■ E種

■ 2 養生

既存部分の養生 ■ ビニルシート、合板等 □ [ ] [改2.3.1]

既存家具等の養生 □ ビニルシート、合板等 □ [ ] [改2.3.1]

既存プラインド、カーテン等の養生 ■ なし [改2.3.1]

□ あり [保管場所: ]

既存家具等の移動 ■ 行わない □ 行う(図示) [改2.3.1]

□ 3 仮設間仕切り [改2.3.2][改表2.3.1]

仮設間仕切り等の種別

種別	下地	仕上材(厚さ mm)	充てん材(厚さ mm)	塗装
□ A種	□ 軽量鉄骨	□ 合板	グラスウール 2号32k	□ 無し
□ B種	□ 木下地	( □ 9.0 □ )	( □ 25 □ )	□ 片面
		□ せっこうボード		
		( □ 9.5 □ )		
□ C種	□ 単管下地	□ 防炎シート		
仮設扉	□ 木製扉	□ 合板張り程度		□ 無し
		□ [ ]		□ 有り
	□ 鋼製扉	□ 片面フラッシュ程度		
		□ [ ]		

■ 4 工事用水

構内既存の施設

□ 利用できない

■ 利用できる ( ■ 有償 □ 無償 )

■ 5 工事用電力

構内既存の施設

□ 利用できない

■ 利用できる ( ■ 有償 □ 無償 )

■ 6 手すり先行足場

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柵及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の手すり据置方式又は3の手すり先行専用足場方式により行うこと。

■ 3章 防水改修工事

特記事項

■ 1 降雨等による養生方法 [改3.1.3(5)]

■ [改3.1.3(5)]による □ 図示

■ 2 既存下地の補修及び処理 [改3.2.6]

既存防水層撤去後のコンクリート、モルタル面の下地補修及び処置

□ 図示 ■ 別途(施工数量調査による)

既存防水層の補修及び処置

□ 図示 ■ 別途(施工数量調査による)

既存保護層の補修及び処置

□ 図示 ■ 別途(施工数量調査による)

入隅及び出隅等の補修及び処置

□ 図示 ■ 別途(施工数量調査による)

架台回り等の処置

□ 図示 ■ 別途(施工数量調査による)

□ 3 アスファルト防水

防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	□ P1B工法	□ B-1 □ B-2 □ B-3
	□ P1BI工法	□ BI-1 □ BI-2 □ BI-3
	□ T1BI工法	□ BI-1 □ BI-2 □ BI-3
	□ P2AI工法	□ AI-1 □ AI-2 □ AI-3
□ P2A工法	□ A-1 □ A-2 □ A-3	
露出防水	□ M4C工法	□ C-1 □ C-2 □ C-3 □ C-4
	□ M3D工法	□ D-1 □ D-2 □ D-3 □ D-4
	□ POD工法	□ D-1 □ D-2 □ D-3 □ D-4
	□ PODI工法	□ DI-1G □ DI-2G □ DI-1 □ DI-2
□ M3DI工法	□ DI-1G □ DI-2G	
□ M4DI工法	□ DI-1G □ DI-2G	
屋内防水	□ P1E工法	□ E-1 □ E-2 保護層 □ 図示による
	□ P2E工法	□ E-1 □ E-2 保護層 □ 図示による

アスファルトの種類

□ 3種

改質アスファルトルーフィングシート (P2AI工法・P2A工法・M4C工法)

種類 □ [改3.3.2(c)(6)]による □ [ ]

厚さ(mm) □ 1.5以上 □ [ ]

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート (P1B工法・P1BI工法・T1BI工法・M3D工法・POD工法・PODI工法・M3DI工法・M4DI工法)

種類 □ [改3.3.2(c)(6)]による □ [ ]

厚さ(mm) □ 1.5以上 □ [ ]

防水の押え金物の材質及び形状寸法

□ [改3.3.2(f)]による □ 図示による

屋根保護防水断熱工法の断熱材 (P1BI工法・T1BI工法・P2AI工法)

材質 □ [改3.3.2(h)]による □ [ ]

厚さ(mm) □ 25 □ 50 □ [ ]

屋根露出防水断熱工法の断熱材 (PODI工法・M3DI工法・M4DI工法)

材質 □ [改3.3.2(i)]による □ [ ]

厚さ(mm) □ 25 □ 50 □ [ ]

屋根保護防水工法の絶縁用シート (P1BI工法・P2AI工法)

□ [改3.3.2(j)]による □ [ ]

屋根保護防水断熱工法の絶縁用シート (P1BI工法・T1BI工法・P2AI工法)

□ [改3.3.2(j)]による □ [ ]

伸縮調整目地

□ 成形伸縮目地材 □ アンカータイプ

□ 付着層タイプ

平場の保護コンクリートの厚さ(mm)

□ 図示による □ [改3.3.5(d)]による

立上り部の保護

□ 図示による

脱気装置 (M3D工法・POD工法・PODI工法・M3DI工法・M4DI工法)

□ 設ける 種類 □ [改3.3.3(b)(2)][改3.3.3(c)]による □ [ ]

設置数量 □ [改3.3.3(b)(2)][改3.3.3(c)]による □ [ ]

□ 設けない

仕上塗料の種類及び使用量

□ 製造所の指定による □ [ ] kg/m<sup>2</sup>

二重ドレン (POD工法・PODI工法)

□ 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する)

□ 設けない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4C工法・M4DI工法)

□ 行わない □ 行う

施工標識

□ 設ける

□ 4 改質アスファルトシート防水 [改3.4.1][改3.4.2~4][改表3.4.1~3]

防水改修工法の種別	施工場所	新規防水層の種別
□ M4AS工法		□ AS-T1 □ AS-T2 □ AS-J2
		□ AS-T3 □ AS-T4 □ AS-J1 □ AS-J3
□ M3AS工法		□ AS-T3 □ AS-T4 □ AS-J1 □ AS-J3
		□ ASI-T1 □ ASI-J1
□ POAS工法		□ ASI-T1 □ ASI-J1
□ M4ASI工法		□ ASI-T1 □ ASI-J1
□ POASI工法		□ ASI-T1 □ ASI-J1

改質アスファルトシート

種類 □ [改表3.4.1~表3.4.3]による □ [ ]

厚さ(mm) □ [改表3.4.1~表3.4.3]による □ [ ]

粘着層付改質アスファルトシート

種類 □ [改表3.4.1~表3.4.3]による □ [ ]

厚さ(mm) □ [改表3.4.1~表3.4.3]による □ [ ]

部分粘着層付改質アスファルトシート

種類 □ [改表3.4.1~表3.4.3]による □ [ ]

厚さ(mm) □ [改表3.4.1~表3.4.3]による □ [ ]

屋根露出防水断熱工法の断熱材 (M3ASI工法・M4ASI工法・POASI工法)

材質 □ [改3.4.2(c)(2)]による □ [ ]

厚さ(mm) □ 25 □ 50 □ [ ]

二重ドレン (POAS工法・POASI工法)

□ 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する)

□ 設けない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS工法・M4ASI工法)

□ 行わない □ 行う

脱気装置 (M3AS工法・POAS工法・M3ASI工法・M4ASI工法・POASI工法)

□ 設ける 種類 □ [改3.4.3(2)][改3.4.3(3)]による □ [ ]

設置数量 □ [改3.4.3(2)][改3.4.3(3)]による □ [ ]

□ 設けない

仕上塗料の種類及び使用量

□ 製造所の指定による □ [ ] kg/m<sup>2</sup>

施工標識

□ 設ける

<input type="checkbox"/> 5 合成高分子系ルーフィングシート防水				
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上塗料	使用分類
<input type="checkbox"/> POS工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> POSI工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> S4S工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> S4SI工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> S3S工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> S3SI工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> M4S工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> M4SI工法		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S-M3	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
<input type="checkbox"/> P1S工法		<input type="checkbox"/> S-C1		
仕上塗料の種類及び使用量 <input type="checkbox"/> 製造所の指定による <input type="checkbox"/> [ ]、kg/m <sup>2</sup> ルーフィングシート 種類 <input type="checkbox"/> 均質加硫ゴム <input type="checkbox"/> 一般複合加硫ゴム <input type="checkbox"/> 均質塩ビ <input type="checkbox"/> 一般複合塩ビ <input type="checkbox"/> 均質TPE <input type="checkbox"/> 一般複合TPE 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [改表3.5.1～表3.5.2]による <input type="checkbox"/> [ ] 絶縁用シート (新規防水層の種類が、S-M1、S-M2、S-M3、SI-M2の場合) 材質 <input type="checkbox"/> [改3.5.2(b)]による <input type="checkbox"/> [ ] 断熱工法の断熱材 (新規防水層の種類が、SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) 材質 <input type="checkbox"/> [改3.5.2(c)(2)]による 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] 脱気装置 <input type="checkbox"/> 設ける 脱気方法 <input type="checkbox"/> [改3.5.3(a)(2)][改3.5.3(b)(2)][改3.5.3(c)(2)]による <input type="checkbox"/> [ ] 設置数量 <input type="checkbox"/> [改3.5.3(a)(2)][改3.5.3(b)(2)][改3.5.3(c)(2)]による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 設けない 二重ドレン (POS工法・POSI工法) <input type="checkbox"/> 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する) <input type="checkbox"/> 設けない				
<input type="checkbox"/> 6 塗膜防水 [改表3.1.1][改3.6.3][改表3.6.1][改表3.6.2]				
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上塗料	
<input type="checkbox"/> POX工法		<input type="checkbox"/> X-1 <input type="checkbox"/> X-2H	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	
<input type="checkbox"/> L4X工法	南側梁上、屋上笠木天端	<input type="checkbox"/> Y-2	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	
<input type="checkbox"/> P1Y工法		<input type="checkbox"/> Y-2		
<input type="checkbox"/> P2Y工法		<input type="checkbox"/> Y-2		
仕上塗料の種類及び使用量 [改3.6.3] <input type="checkbox"/> 製造所の指定による <input type="checkbox"/> [ ]、kg/m <sup>2</sup> 二重ドレン (POX工法) [改3.2.5] <input type="checkbox"/> 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する) <input type="checkbox"/> 設けない 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装の除去 (L4X工法) [改3.2.6] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 脱気装置 (POX工法) [改3.6.3] <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> 1ヶ所/50m <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 設けない				
<input type="checkbox"/> 7 シーリング [改表3.1.2][改3.7.1～8]				
シーリング改修工法の種類	施工箇所	シーリング材の種類(記号)		
<input type="checkbox"/> シーリング充填工法				
<input type="checkbox"/> シーリング再充填工法	管理棟及び増築棟外壁	PS-2・MS-2		
<input type="checkbox"/> 拡幅シーリング再充填工法				
<input type="checkbox"/> ブリッジ工法				
ボンドブレード張り及びエッジング材張り (ブリッジ工法) [改3.7.7] <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない 目地寸法 [改3.7.3] <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [改3.7.3]による				

シーリング材の接着性試験 [改3.7.8] <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 簡易接着性試験 <input type="checkbox"/> 引張接着性試験 <input type="checkbox"/> 行わない				
<input type="checkbox"/> 8 とい <input type="checkbox"/> たてどい(雨水用) 材種 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管(白管) <input type="checkbox"/> 既製たてどい(市販品) ( <input type="checkbox"/> アルミニウム製(厚 ) <input type="checkbox"/> ステンレス製(厚 0.6mm) 防露巻き <input type="checkbox"/> [改表3.8.5]による <input type="checkbox"/> 行わない 防露材のホルムアルデヒド放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種 床下掃除口 <input type="checkbox"/> 図示による				
<input type="checkbox"/> たてどい(屋内床排水用) 材種 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管(白管) <input type="checkbox"/> ステンレス鋼管 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 <input type="checkbox"/> RF-VP <input type="checkbox"/> 防露巻き <input type="checkbox"/> [改表3.8.5]による <input type="checkbox"/> 行わない 防露材のホルムアルデヒド放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 床下掃除口 <input type="checkbox"/> 図示による				
<input type="checkbox"/> 軒どい 材質 <input type="checkbox"/> [ ] 材の厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [ ] 製造所及び製品番号				
<input type="checkbox"/> とい受け金物 材質 <input type="checkbox"/> [改3.8.2(c)]による <input type="checkbox"/> ステンレス製				
<input type="checkbox"/> 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 <input type="checkbox"/> 図示による				
<input type="checkbox"/> 9 ルーフドレン 材種 <input type="checkbox"/> 鋳鉄製 <input type="checkbox"/> ステンレス製 取付け <input type="checkbox"/> 改3.8.3(h)による <input type="checkbox"/> 図示による				
<input type="checkbox"/> 10 アルミニウム製笠木 <input type="checkbox"/> オープン形式 <input type="checkbox"/> シール形式				
部材の種類	最小呼称肉厚	表面処理	避雷導体(下水道施設標準図E-01-1)	備考
<input type="checkbox"/> 200形	1.6mm	<input type="checkbox"/> A-1種又はB-1種	<input type="checkbox"/> 有	取付けボルト、ネジ類はステンレス製とする
<input type="checkbox"/> 250形	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> B-2種	<input type="checkbox"/> 有	
<input type="checkbox"/> 300形		<input type="checkbox"/> ブラック	<input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> 350形	2.0mm	<input type="checkbox"/> ステンカラー		
<input type="checkbox"/> 400形	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> ブラウン系		
<input type="checkbox"/> 450形		<input type="checkbox"/> JIS H 8602 A2種		
<input type="checkbox"/> 図示による	<input type="checkbox"/> 図示による	<input type="checkbox"/> 無色		
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 着色		
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]		
既存の笠木等の撤去 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない				
新規笠木の下の補修 <input type="checkbox"/> 図示による				
板材折曲げ形の取付工法 <input type="checkbox"/> [改3.9.3(b)]による				

<input type="checkbox"/> 4章 外壁改修工事					
共通事項 <input type="checkbox"/> 1 施工数量調査 調査範囲 <input type="checkbox"/> 外壁部全面 <input type="checkbox"/> 外壁改修範囲 <input type="checkbox"/> 図示の範囲 [改1.6.2]					
調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、また、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。 調査報告書の部数 <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> [ ]					
<input type="checkbox"/> 2 改修材料 [改4.1.2]					
<input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂					
性能	常温物性	低温性	加熱劣化	引張接着性(常温物性)	
引張強さ	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	最大引張応力	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上
伸び	30%以上	30%以上	30%以上	破断時の伸び	10%以上
比重 表示値±0.10 押し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと c. 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること					
<input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成高分子エマルジョン(合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等)					
曲げ強さ	圧縮強さ	接着強さ		備考	
		標準時	湿潤時	低温時	
6.0N/mm <sup>2</sup> 以上	20.0N/mm <sup>2</sup> 以上	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	0.8N/mm <sup>2</sup> 以上	0.5N/mm <sup>2</sup> 以上	
表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと 均質で有害と認められる異物の混入がないこと					
<input type="checkbox"/> パテ状エポキシ樹脂					
初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	
2.0N/mm <sup>2</sup> 以上	6.0N/mm <sup>2</sup> 以上	50.0N/mm <sup>2</sup> 以上	30.0N/mm <sup>2</sup> 以上	3.0%以下	
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと c. 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること					
<input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル					
接着強さ	圧縮強さ		曲げ強さ		
1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	20.0N/mm <sup>2</sup> 以上		10.0N/mm <sup>2</sup> 以上		
a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと d. 形状に異常がなく、だれが生じないこと e. 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること					
<input type="checkbox"/> ポリマーセメントスラリー					
広がり速度	長さ変化率(収縮)	引張接着性(材令28日)	曲げ強度(材令28日)	吸水率(72時間)	耐久性(劣化曲げ強さ)
3cm/s以上	3%以下	0.5N/mm <sup>2</sup> 以上	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上	15%以下	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上
保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00					
<input type="checkbox"/> 吸水調整材					
項目	全固分	吸水性	接着強さ	界面破断率	
品質・性能	表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	0.98N/mm <sup>2</sup> 以上	50%以下	
均質で有害と認められる異物の混入がないこと					
<input type="checkbox"/> タイル部分張替え用エポキシ樹脂					
接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上
凝集破壊率	75%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上
伸び	35%以上	35%以上	35%以上	25%以上	25%以上

貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化のないこと 耐熱性 JIS A 5557により、80℃で4週間、9.8Nのおもりで安定していること				
a. 外観は、均質で有害と認められる異物の混入がないこと b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと c. 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと d. ずれが生じないこと e. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること				
<input type="checkbox"/> 既製調合モルタル(タイル張付け用材料)				
保水率(%)	単位容積質量(kg/l)	接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )		長さ変化率(%)
		標準時	温冷繰返し後	
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> ) 4.0以上				
<input type="checkbox"/> 1 ひび割れ部改修工法				
<input type="checkbox"/> 樹脂注入工法				
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
<input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	<input type="checkbox"/> 200～300	<input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	<input type="checkbox"/> 50～100	<input type="checkbox"/> 40	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	<input type="checkbox"/> 100～200	<input type="checkbox"/> 70	<input type="checkbox"/>
	0.5以上～1.0以下	<input type="checkbox"/> 150～250	<input type="checkbox"/> 130	<input type="checkbox"/>
注入材料 <input type="checkbox"/> 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形) <input type="checkbox"/> 検査(コア取り) <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 抜き取り個数及びコアの形状 <input type="checkbox"/> [改4.3.4(f)]による 抜き取り部の補修方法 <input type="checkbox"/> 図示による				
<input type="checkbox"/> Uカットシール材充填工法				
充填材料 品質・規格等 備考				
<input type="checkbox"/> シーリング材料	<input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材		ポリマーセメントモルタルの充填 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う	
<input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂				
<input type="checkbox"/> シール工法 シール材料 <input type="checkbox"/> パテ状エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂				
<input type="checkbox"/> 2 欠損部改修工法				
<input type="checkbox"/> 充填工法 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル				
<input type="checkbox"/> モルタル塗り仕上外壁				
<input type="checkbox"/> 1 既存モルタル塗りの撤去 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 行わない				
<input type="checkbox"/> 2 ひび割れ部改修工法 [改4.1.4(2)][改4.4.2][改4.4.5～6] <input type="checkbox"/> 樹脂注入工法 [改4.4.6]				
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
<input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	<input type="checkbox"/> 200～300	<input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	<input type="checkbox"/> 50～100	<input type="checkbox"/> 40	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	<input type="checkbox"/> 100～200	<input type="checkbox"/> 70	<input type="checkbox"/>
	0.5以上～1.0以下	<input type="checkbox"/> 150～250	<input type="checkbox"/> 130	<input type="checkbox"/>
注入材料 [改4.2.4(1)] <input type="checkbox"/> 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形) <input type="checkbox"/>				
検査(コア取り) [改4.2.5] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 抜き取り個数及びコアの形状 <input type="checkbox"/> [改4.2.5(6)]による 抜き取り部の補修方法 <input type="checkbox"/> 図示による				

<input checked="" type="checkbox"/> Uカットシール材充填工法 [改4.2.6][改4.4.7]					<input type="checkbox"/> Uカットシール材充填工法					<input type="checkbox"/> 6 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類										防火指定 <input type="checkbox"/> 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。														
充填材料 <input checked="" type="checkbox"/> シーリング材		品質・規格等 <input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材		備考 <input type="checkbox"/> 行わない <input checked="" type="checkbox"/> 行う	充填材料 <input type="checkbox"/> シーリング材		品質・規格等 <input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材		備考 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う	施工箇所 形状寸法 (mm)		吸水率による区分 I 類 II 類 III 類		うわ薬 無軸 施軸		役物 有 無		色 標準 特注品		汚泥タイル 再生材 G		耐凍害性 有 無		タイルの品質等	<input type="checkbox"/> 4 石調吹付け 目地 <input type="checkbox"/> 一段 <input type="checkbox"/> 色数 <input type="checkbox"/> 2色 <input type="checkbox"/> 上塗材 <input type="checkbox"/> ウレタン系 <input type="checkbox"/> 製造所 [ 製造番号 または同等以上とする]									
<input checked="" type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂					<input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂					役物 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く) 特注タイルの見本焼 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 汚泥タイルの下水道汚泥焼却灰含有量 <input type="checkbox"/> 市販品同等 <input type="checkbox"/> 原材料の重量比( )%以上 (試験焼き) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 [改4.5.8(g)(2)] <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ] タイル張りの工法 [改4.5.8(c)][改表4.5.3] <input type="checkbox"/> 密着張り <input type="checkbox"/> マスク張り <input type="checkbox"/> [ ] タイルの試験張り [改4.2.2(h)(4)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う タイルの接着力試験 [改4.5.8(d)(3)] <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない										防火材料の指定が必要な場合 <input type="checkbox"/> 建築基準法に基づく認定を受けた材料とする														
<input checked="" type="checkbox"/> シール工法 シール材 <input type="checkbox"/> バテ状エポキシ樹脂 <input checked="" type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 [改4.2.6]					<input type="checkbox"/> 3 欠損部改修工法 <input type="checkbox"/> タイル部分張替え工法 タイル部分張替え工法用接着材 <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> 変形シリコン樹脂 <input type="checkbox"/> ポリウレタン樹脂					<input type="checkbox"/> 7 目地改修工法 <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 [改4.1.4(c)][改4.5.16]										<input type="checkbox"/> 5章 建具改修工事														
<input type="checkbox"/> 既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 <input type="checkbox"/> シール工法の範囲 ( 幅= 程度 )					<input type="checkbox"/> タイル張替え工法 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 <input type="checkbox"/> 改修横仕様4.5.11による <input type="checkbox"/> 図示 タイル張替え工法用接着材 <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> 変形シリコン樹脂 <input type="checkbox"/> ポリウレタン樹脂 タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 外壁及び内壁吹付け部分のタイル下地モルタルは、タイル張付け前に、打診による全面検査及び接着力試験を行う。検査方法は、タイル検査[改4.5.8(d)]に準じて行う。					<input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 [改4.5.16(b)(1)] <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 [改4.5.16(b)(3)] <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]										特記事項 <input type="checkbox"/> 1 改修工法 [改5.1.3]														
<input checked="" type="checkbox"/> 3 欠損部改修工法 [改4.1.4]					<input type="checkbox"/> 4 浮き部改修工法					<input type="checkbox"/> 塗り仕上げ外壁 [改4.5.4]										<input type="checkbox"/> 2 防火設備、特定防火設備等の建具 [改5.1.4]														
<input checked="" type="checkbox"/> 充填工法 充填材料 <input checked="" type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル					<input type="checkbox"/> 4 浮き部改修工法					<input checked="" type="checkbox"/> 1 既存塗膜等の除去及び下地処理 [改4.5.4]										<input type="checkbox"/> 3 見本の製作等 [改5.1.5]														
<input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 材 料 <input type="checkbox"/> [改4.2.2(g)]による 仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示)					<input type="checkbox"/> 4 浮き部改修工法					<input type="checkbox"/> 2 下地処理調整 [改4.5.5]										<input type="checkbox"/> 4 アルミニウム製建具 外部に面する建具 [改5.2.2][改表5.2.1]														
<input checked="" type="checkbox"/> 4 浮き部改修工法 [改4.1.4(2)][改4.4.4][改4.4.9~15]					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input checked="" type="checkbox"/> 3 仕上塗材仕上げ [改4.1.5][改4.5.2][改表4.5.1]										<input type="checkbox"/> 3 新製に金属製建具を設置する場合の開口の開け方、補修工法及び範囲 [改5.1.3(b)]														
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)		アンカーピンの本数 (本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数 (箇所/m <sup>2</sup> )		充填量 注入量 (ml/箇所)		改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)		アンカーピンの本数 (本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数 (箇所/m <sup>2</sup> )		充填量 注入量 (ml/箇所)		<input type="checkbox"/> 1 既存塗膜等の除去及び下地処理 [改4.5.4]										<input type="checkbox"/> 4 アルミニウム製建具 外部に面する建具 [改5.2.2][改表5.2.1]								
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法		<input checked="" type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法		<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> サンダー工法 (げい弱化した塗膜表面・ふくれ) <input type="checkbox"/> [ ]										<input checked="" type="checkbox"/> ひび割れ部改修 <input type="checkbox"/> 欠損部改修 <input type="checkbox"/> 浮き部改修								
<input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法		<input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 25		<input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法		<input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 25		<input type="checkbox"/> 高圧水洗工法 (既存塗膜及び下地RC面劣化部) <input type="checkbox"/> [ ]										<input type="checkbox"/> 浮き部改修								
<input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法		<input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 50		<input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法		<input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20		<input type="checkbox"/> 50		<input type="checkbox"/> 塗膜はく離工法 (既存塗膜全て) <input type="checkbox"/> [ ]										<input type="checkbox"/> 浮き部改修								
<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> 水洗い工法 <input checked="" type="checkbox"/> 上記処理範囲以外の既存仕上面全面										<input type="checkbox"/> 浮き部改修								
<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 2 下地処理調整 [改4.5.5]										<input type="checkbox"/> 4 アルミニウム製建具 外部に面する建具 [改5.2.2][改表5.2.1]								
<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> 50		<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> 25		<input checked="" type="checkbox"/> 3 仕上塗材仕上げ [改4.1.5][改4.5.2][改表4.5.1]										<input type="checkbox"/> 4 アルミニウム製建具 外部に面する建具 [改5.2.2][改表5.2.1]								
<input type="checkbox"/> アンカーピン 材質等 <input checked="" type="checkbox"/> [改4.3.5(6)]による <input type="checkbox"/> [ ]					<input type="checkbox"/> アンカーピン 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.2.2(e)(3)]による <input type="checkbox"/> [ ]					<input type="checkbox"/> 薄付け仕上塗材										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> A種														
<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピン 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.2.2(f)(3)]による <input type="checkbox"/> [ ]					<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピン 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.2.2(f)(3)]による <input type="checkbox"/> [ ]					<input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材S										<input type="checkbox"/> B種														
<input checked="" type="checkbox"/> 充填工法 充填材料 <input checked="" type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル [改4.3.9]					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材S										<input type="checkbox"/> C種														
<input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 材 料 <input type="checkbox"/> [改4.2.2(g)]による 仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示)					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材S										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> B-1種														
<input type="checkbox"/> タイル張り仕上外壁					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材S										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> B-2種														
<input type="checkbox"/> 1 既存タイル張りの撤去 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> 全面 撤去範囲 <input type="checkbox"/> 下地モルタルまで <input type="checkbox"/> 張付けモルタルまで <input type="checkbox"/> タイルのみ <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 行わない					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材S										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-1種														
<input type="checkbox"/> 2 ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 改修箇所 <input type="checkbox"/> 既存タイル面 <input type="checkbox"/> 既存タイル撤去面( <input type="checkbox"/> 既存コンクリート面 <input type="checkbox"/> 既存モルタル面 )					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材S										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-2種														
<input type="checkbox"/> 樹脂注入工法					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形外装薄塗材S										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-3種														
注入工法の種類		ひび割れ幅 (mm)		注入口間隔 (mm)		注入量 (ml/m)		備考		保水率 (%)		単位容積質量 (kg/l)		接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )		長さ変化率 (%)		曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )		<input type="checkbox"/> 複層仕上塗材										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-4種				
<input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		0.2以上~1.0以下		200~300		<input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/>				70.0以上		1.80程度		0.60以上		0.40以上		4.0以上		<input type="checkbox"/> 複層仕上塗材 <input type="checkbox"/> 複層塗材CE <input type="checkbox"/> 複層塗材Si <input type="checkbox"/> 複層塗材E <input type="checkbox"/> 複層塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形複層塗材CE <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材CE <input checked="" type="checkbox"/> 防水型複層塗材E <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RS <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-5種				
<input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法		0.2以上~0.3未満		50~100		<input type="checkbox"/> 40 <input type="checkbox"/>				70.0以上		1.80程度		0.60以上		0.40以上		4.0以上		<input type="checkbox"/> 複層仕上塗材 <input type="checkbox"/> 複層塗材CE <input type="checkbox"/> 複層塗材Si <input type="checkbox"/> 複層塗材E <input type="checkbox"/> 複層塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形複層塗材CE <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材CE <input checked="" type="checkbox"/> 防水型複層塗材E <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RS <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-6種				
<input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法		0.3以上~0.5未満		100~200		<input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/>				70.0以上		1.80程度		0.60以上		0.40以上		4.0以上		<input type="checkbox"/> 複層仕上塗材 <input type="checkbox"/> 複層塗材CE <input type="checkbox"/> 複層塗材Si <input type="checkbox"/> 複層塗材E <input type="checkbox"/> 複層塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形複層塗材CE <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材CE <input checked="" type="checkbox"/> 防水型複層塗材E <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RS <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-7種				
<input type="checkbox"/> 0.5以上~1.0以下		0.5以上~1.0以下		150~250		<input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/>				70.0以上		1.80程度		0.60以上		0.40以上		4.0以上		<input type="checkbox"/> 複層仕上塗材 <input type="checkbox"/> 複層塗材CE <input type="checkbox"/> 複層塗材Si <input type="checkbox"/> 複層塗材E <input type="checkbox"/> 複層塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形複層塗材CE <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材CE <input checked="" type="checkbox"/> 防水型複層塗材E <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RS <input type="checkbox"/> 防水型複層塗材RE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-8種				
<input type="checkbox"/> 注入材料 <input type="checkbox"/> 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度形又は中粘度形)					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形改修用仕上塗材										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-9種														
<input type="checkbox"/> 検査(コア抜き) <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 抜き取り個数及びコアの形状 抜き取り部の補修方法 <input type="checkbox"/> [改4.3.4(f)]による <input type="checkbox"/> 図示による					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形改修用仕上塗材 <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材CE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-10種														
<input type="checkbox"/> タイル張りの工法 <input type="checkbox"/> 密着張り <input type="checkbox"/> マスク張り <input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形改修用仕上塗材 <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材CE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-11種														
<input type="checkbox"/> タイルの試験張り <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形改修用仕上塗材 <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材CE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-12種														
<input type="checkbox"/> タイルの接着力試験 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない					<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類					<input type="checkbox"/> 可とう形改修用仕上塗材 <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材E <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材RE <input type="checkbox"/> 可とう形改修塗材CE										<input type="checkbox"/> 種別 <input type="checkbox"/> C-13種														

□ アルミニウム製建具の耐震アセットの適用
□ 適用箇所は図示による
面内変形追随性能 □ D-1 □ D-2 □ D-3
□ 5 網戸
形式 構造 網の種類 網目 線径
□ 外面可動式 □ 純正 □ ガラス繊維入り合成樹脂製 □ 16~18メッシュ □ 0.25mm以上
□ 固定式 □ フリーサイズ □ 合成樹脂製 □ [ ] □ [ ]
□ 6 鋼製建具
外部建具の耐風圧性(大型建具を除く) □ S-4 □ S-5 □ S-6
簡易気密扉の簡易気密型アセット性能値(大型建具を除く) □ 適用する(気密性A-3、水密性W-1) □ 適用しない
外部に面する大型建具の耐風圧性 □ 図示による □ 1,200Pa □ [ ]
□ 鋼製建具の防音アセットの適用(大型建具を除く) □ 適用箇所は図示による 遮音性能 □ T-1 □ T-2 □ T-3 □ T-4
□ 鋼製建具の断熱アセットの適用(大型建具を除く) □ 適用箇所は図示による 断熱性能 □ H-1 □ H-2 □ H-3 □ H-4
□ 鋼製建具の耐震アセットの適用(大型建具を除く) □ 適用箇所は図示による 面内変形追随性能 □ D-1 □ D-2 □ D-3
□ 標準型鋼製建具の適用は図示による
□ 大型建具の金物 □ 上下の大型上げ落とし又は内蔵型上げ落としを設置する。(二枚扉の場合は、両扉とも設置)
□ 7 鋼製軽量建具
簡易気密扉の簡易気密型アセット性能値 □ 適用する ( □ A-3 □ ) □ 適用しない
□ 鋼製軽量建具の防音アセットの適用 □ 適用箇所は図示による 遮音性能 □ T-1 □ T-2 □ T-3 □ T-4
□ 鋼製軽量建具の断熱アセットの適用 □ 適用箇所は図示による 断熱性能 □ H-1 □ H-2 □ H-3 □ H-4
□ 鋼製軽量建具の耐震アセットの適用 □ 適用箇所は図示による 面内変形追随性能 □ D-1 □ D-2 □ D-3
□ 標準型鋼製軽量建具の適用は図示による
□ 8 ステンレス製建具
表面仕上げ □ 図示による □ [ ]
曲げ加工 □ 普通曲げ □
補強材 □ [5.6.4(e)]による □ ステンレス製
外部建具の耐風圧性(大型建具を除く) □ S-4 □ S-5 □ S-6
簡易気密扉の簡易気密型アセット性能値(大型建具を除く) □ 適用する(気密性A-3、水密性W-1) □ 適用しない
外部に面する大型建具の耐風圧性 □ 図示による □ 1,200Pa □ [ ]
□ ステンレス製建具の防音アセットの適用(大型建具を除く) □ 適用箇所は図示による 遮音性能 □ T-1 □ T-2 □ T-3 □ T-4
□ ステンレス製建具の断熱アセットの適用(大型建具を除く) □ 適用箇所は図示による 断熱性能 □ H-1 □ H-2 □ H-3 □ H-4

□ ステンレス製建具の耐震アセットの適用(大型建具を除く)
□ 適用箇所は図示による
面内変形追随性能 □ D-1 □ D-2 □ D-3
□ 9 防水型建具 (下水道施設標準図 D-21~26)
建具用浸水深 □ 2.0m以下 □ 2.0~4.5m以下 □ 4.5~6.5m以下
□ 6.5~9.5m以下
防水性(m3/h/m2) □ 0.02以下 □ [ ]
耐水圧性 □ [ ]
気密性(JIS A 4702による) □ A-4等級 □ [ ]
水密性(JIS A 4702による) □ W-5等級 □ [ ]
防水性能試験 □ 行なう □ 行わない
\* 試験方法は「防水型建具の防水性能試験方法(案)」による。
上記以外(下水道施設標準図 D-21~26)による。
□ 10 木製建具
かまち戸の樹種 □ 鏡板 [ ]
かまち [ ]
ふすまの上張り □ 新鳥の子程度又はビニル紙 □ 鳥の子
□ 11 建具用金物
金物の種類 金物の仕様
大型丁番 SUS製又は黄銅製 中西産業KK(5K-5600)
KKシブタニ(DH-340S) GK堀商店(2841) 程度とする
内蔵型上げ落とし (内蔵型グレモン締り) ハンドル □ ステンレス製 □ [ ]
□ ローラーなしハンドル □ ローラー付きハンドル
KKシブタニ(C-55Gシリーズ) 中西産業KK(GMS-1300Cシリーズ) 程度とする
大型上げ落とし (大型面付け上部締り) KKシブタニ(DL-2000) 中西産業KK(5K-5600)
GK堀商店(2621) 程度とする
大型扉用戸当りあり止り止め 床付け GK堀商店(2113) 中西産業KK(DC-X-19)
KKシブタニ(DC-91) 程度
壁付け GK堀商店(2103) 中西産業KK(DC-X-20) 程度
両面締りハンドル ハンドル □ ステンレス製 □ [ ]
KKシブタニ(H72SX+JSDL55) 中西産業KK (SUS-X-191-RO) 程度とする
片面締りハンドル ハンドル □ ステンレス製 □ [ ]
KKシブタニ(H170S) 中西産業KK (SUS-FX-191-SR) 程度とする
面付3点両面締りハンドル ハンドル □ 黄銅製 □ [ ]
KKシブタニ(DL-4000T-3D) GK堀商店(2651-TG-3W) 程度とする
面付2点片面締りハンドル ハンドル □ 黄銅製 □ [ ]
KKシブタニ(DL-4000T-2S) GK堀商店(2651-TG-2)程度とする
上記以外の金物は改修標準仕様書による。
握り玉、レバーハンドル等の取付け位置 □ 図示による
□ ドアクローザー □ ディレードアクション(遅延閉)機能付き □ [ ]
□ マスターキー(施工中はコンストラクションキーシステムを適用する) □ 製作する [委託団体と協議の上システムを決定する] □ 製作しない
□ 12 自動ドア開閉機構
開閉方法 センサーの種類
□ スライディングドア □ マットスイッチ □ 光線(反射)スイッチ
□ スイングドア □ 熱線スイッチ □ 音波スイッチ
□ □ □ 光電スイッチ □ 電波スイッチ
□ □ □ タッチスイッチ □ 押しボタンスイッチ
□ □ □ ペダルスイッチ □ 多機能トイレスイッチ
□ [ ]
□ 寒冷地の凍結防止装置 建具番号[適用箇所は図示による]
□ 13 自閉式上吊り引戸装置(多目的トイレ等)
自閉式上吊り引戸装置の性能 □ (改表5.9.1)による □ 製造所の標準仕様による

□ 14 重量シャッター
耐風圧性能(N/m<sup>2</sup>) □ 1200 □ 図示による
開閉機能による種類 □ 上部電動式(手動併用) □ 上部手動式
保護装置(一般の電動シャッター) □ 障害物感知装置 □ [ ]
保護装置 (煙若しくは熱感知器運動機構または手動閉鎖装置により閉鎖する屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッター) □ 障害物感知装置(自動閉鎖型)かつ「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号、最終改正平成17年12月1日国土交通省告示第1392号)に定める基準に適合するもの
防火または防煙シャッター以外のシャッターケース □ 設ける □ 設けない
ガイドレール形式 □ 耐風型(はずれ止めを設ける) □ 一般型
※ シャッター、ガイドレール、座板、シャッターケース (ステンレスSUS304)
□ 15 防臭シャッター (下水道施設標準図 D-14、D-15)
耐風圧性能(N/m<sup>2</sup>) □ 1200 □ 800 □ 図示による
通気性能(m3/min・m2) □ 0.2 □ [ ]
開閉機能による種類 □ 上部電動式(手動併用) □ 上部手動式
保護装置 □ 障害物感知装置 □ [ ]
シャッターケース □ 設ける □ 設けない
スラットの形式 □ オーバーラッピング形
ガイドレール形式 □ 耐風型(はずれ止めを設ける) □ 一般型
遮臭材 □ クロロプロレゴム
上記以外(下水道施設標準図 D-14、D-15)による。
□ 16 オーバーヘッドドア
形式 □ 一般タイプ □ 防臭タイプ(下水道施設標準図 D-16)
セクション材 □ アルミニウムタイプ JIS H 4001及びJIS H 4100による
□ スチールタイプ JIS G 3312による
□ ファイバーグラスタイプ JIS A 5701に準ずる
□ 断熱タイプ
耐風圧性能(N/m<sup>2</sup>) □ 500 □ 750 □ 1000 □ 1250
□ [ 図示による ]
開閉機構 □ バランス式 □ チェーン式 □ チェーン式
収納形式 □ スタンダード形 □ ローヘッド形 □ ハイリフト形 □ パーチカル形
ガイドレール □ ステンレスSUS304 厚2mm以上 □ 熔融亜鉛めっき鋼板 厚2mm以上
アルミ型材の表面処理 □ B-1種 □ B-2種
着色方法 □ 二次電解着色 □ [ ]
色合い □ ブラック □ ステンカラー □ ブラウン系 □ [ ]
□ JIS H 8602のA2種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜)
□ JIS A 8602のA2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜)
着色方法 □ 二次電解着色 □ [ ]
色合い □ ブラック □ ステンカラー □ ブラウン系 □ [ ]
製造所 評価名簿による

□ 17 煙感知器連動自閉装置
機器装置一式は、別図建築電気設備工事による
□ 18 ガラス[適用箇所、寸法並びに厚さは図示による]
強化ガラス 板ガラスの材種 □ 図示による □ フロート板強化ガラス
熱線吸収板ガラス 板ガラスの材種 □ 図示による □ フロート板強化ガラス
色調 ( □ グレー □ ブルー □ ブロンズ □ グリーン )
複層ガラス 板ガラスの材種 □ 図示による □ [ ]
断熱性・日射熱遮蔽性による区分 □ 1種 □ 2種 □ 3種(U3-1) □ 3種(U3-2)
□ 4種 □ 5種
熱線反射ガラス 板ガラスの材種 □ 図示による □ [ ]
色調 ( □ ブロンズ □ シルバー )
反射ガラス面の映像調整 □ 行う □ 行わない
日射熱遮蔽性区分 □ 1種 □ 2種 □ 3種
□ A類 □ B類
□ 19 ガラスの留め材
建具の種類 材種
アルミニウム製 □ シーリング材 □ ガスケット(Fix部はシーリング材)
鋼製 □ シーリング材 □ [ ]
ステンレス製 □ シーリング材 □ [ ]
木製建具 □ 押縁 □ [ ]
防火戸のガラスの留め材は、建築基準法に基づく防火性能に関する技術的基準に適合したもの。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
改修標準仕様書5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会 JSAA 17「3.1 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。
□ 20 ガラスブロック
ガラスの色 □ クリアー □ カラー □ セラミックカラー □ リズミカラー □ 乳白色 □ 熱線反射
カ骨の材質 □ (16.13.5)による □ [ ]
化粧目地モルタルの色 □ 白色 □ [ ]
シーリング □ (9.7.2)による
金属製化粧カバーの材質、寸法、形状等 □ 図示による
□ ステンレス製(SUS304)
□ アルミニウム製
表面処理 □ B-1種 □ B-2種
着色方法 □ 二次電解着色 □ [ ]
色合い □ ブラック □ ステンカラー □ ブラウン系 □ [ ]
ガラスブロックの化粧目地 □ シーリング(外部目地) □ 目地モルタル(内部目地)
化粧目地の寸法 □ 図示による □ (16.14.5)による
伸縮調整目地の位置 □ 図示による □ (16.14.5)による

目地部のカ骨の補強方法  
 ガラスブロック製造所の仕様による  
 図示による

防火性能  
 有り  無し

工法  
 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。(16.14.5(b))

<input type="checkbox"/> 21 ガラス用フィルム(内張り用)	
用途による区分	記号
<input type="checkbox"/> ガラス飛散防止フィルム	<input type="checkbox"/> GS-A・B
<input type="checkbox"/> 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	<input type="checkbox"/> SC-A/GS-A・B <input type="checkbox"/> SC-B/GS-A・B
<input type="checkbox"/> ガラス貫通防止フィルム	<input type="checkbox"/> SF-A
<input type="checkbox"/> 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	<input type="checkbox"/> SC-A/SF-A <input type="checkbox"/> SC-B/SF-A
品質 JIS A 5759 による	

■ 6章 内装改修工事

一般事項  
 ■ 1 接着剤  
 接着剤のホルムアルデヒド放散量  
 ■ 規制対象外  第三種  
 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

特記事項  
 ■ 1 他の部位との取り合い等  
 建具の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [改6.1.3(2)]  
 [改6.1.3(2)]による  図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [改6.1.3(3)]  
 [改6.1.3(3)]による  図示による

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [改6.1.3(5)]  
 [改6.1.3(5)]による  図示による

■ 2 既存床の撤去並びに下地補修 [改6.2.2]  
 床タイル、ビニル床シート、ビニル床タイル等の除去  
 仕上材のみ(接着剤とも)  範囲  図示による  
 下地モルタルまで  範囲  図示による

合成樹脂塗料の除去  
 機械的除去工法  
 目荒し工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理  
 材 料 ■ ポリマーセメントモルタル  
 ポリマーセメントモルタルの種類  
 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系

曲げ強さ	圧縮強さ	接着強さ		
		標準時	湿潤時	低温時
6.0N/mm2以上	20.0N/mm2以上	1.0N/mm2以上	0.8N/mm2以上	0.5N/mm2以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと  
 透湿性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと  
 均質で有害と認められる異物の混入がないこと

エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/mm2以上	20.0N/mm2以上	10.0N/mm2以上

- a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること
- b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと
- c. 「労働安全衛生法」に基づく有機溶剤中毒予防規則に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと
- d. 形状に異常がなく、だれが生じないこと
- e. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること

施工箇所  図示による  [ ]

欠損部又は下地モルタル撤去部の下地モルタル塗り  
 図示による

改修後の床の清掃範囲  
 改修箇所の室内  [ ]

- 3 既存壁の撤去並びに下地補修  
 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修  
 図示による  
 [改6.3.2(a)(5)]による
- 4 軽量鉄骨天井下地  
 野縁等の種類  
 屋外  25型  19型  
 屋内  19型  25型

屋外の軽量鉄骨天井下地  
 屋外の野縁受け、吊りボルト及びインサートの間隔  
 建築工事標準詳細図(3-21-1~4)による  
 図示による(耐風圧を確認する)

屋外の野縁の間隔  
 建築工事標準詳細図(3-21-1~4)による  
 図示による(耐風圧を確認する)

既存の埋込みインサート  
 使用する  使用しない

あと施工アンカーの引抜き試験  
 行う  行わない

軽量鉄骨天井下地の補強  
 耐震性を確保した補強(必要に応じて斜め補強材を入れる。)  
 図示による  [ ]

屋外の軒天井、ピロティ天井等の補強  
 図示による

- 5 軽量鉄骨壁下地  
 スタッド、ランナーの種類  
 スタッドの高さが5.0m以下の場合  
 [改表6.7.1]による  図示による
- スタッドの高さが5.0mを超える場合  
 図示による  [ ]

- 6 ビニル床シート張りG
- | 種類                                | JISの記号  | 色柄  | 厚さ                           |
|-----------------------------------|---|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 発泡層のないもの | <input type="checkbox"/> FS(被層ビニル床シート)<br>[旧:NC(ビニル床シート)] | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> マーブル柄<br><input type="checkbox"/> 柄物 | <input type="checkbox"/> 2.5 |
| <input type="checkbox"/> 発泡層のあるもの | <input type="checkbox"/>                                  | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物<br><input type="checkbox"/>       | <input type="checkbox"/>     |

工 法  
 熱溶接工法  
 突付け ( 施工箇所 )

- 7 ビニル床タイル張りG
- | 種類                           | JISの記号   | 色柄  | 厚さ                           |
|------------------------------|--|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 接着形 | <input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル)<br>[旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))]<br>CTS(コンポジションビニル床タイル(軟質))]<br><input type="checkbox"/> FT(被層ビニル床タイル)<br>[旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)] | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物                             | <input type="checkbox"/> 2.0 |
| <input type="checkbox"/> 置敷形 | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>     |

- 8 特殊機能床材G
- | 種類   | 特殊機能                | 色柄  | 厚さ                           |
|--|---------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル)<br>[旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))]<br><input type="checkbox"/> FT(被層ビニル床タイル)<br>[旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)] | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/> 2.0 |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物<br>または4.5 | <input type="checkbox"/>     |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止<br>耐動荷重<br>耐薬品 | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/>     |

性 能  
 帯電防止  
 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満)  
 または体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10<sup>7</sup>~1×10<sup>10</sup>Ω程度  
 耐動荷重  [ ]  
 耐薬品  [ ]

- 9 誘導用及び注意喚起用床材  
 形状:JIS T 9251 (色彩は黄色を原則とする)
- | 種類                                  | 寸法(mm)  | 備考 |
|-------------------------------------|---|----|
| <input type="checkbox"/> レジンコンクリート製 | <input type="checkbox"/> 300×300 厚さ30程度<br><input type="checkbox"/> [ ]                 |    |
| <input type="checkbox"/> 塩化ビニル製     | <input type="checkbox"/> 300×300 <input type="checkbox"/> [ ]                           |    |
| <input type="checkbox"/> 磁器質タイル     | <input type="checkbox"/> 無ゆう <input type="checkbox"/> 300角 <input type="checkbox"/> [ ] |    |

- 10 ビニル幅木  
 高さ(mm)  60  75  100  
 厚さ(mm)  1.5  [ ]
  - 11 タイルカーペット敷き
- | バイル形式                              | 種別   | 種類   | 総厚さ(mm)  | 施工箇所 |
|------------------------------------|--|--|--|------|
| <input type="checkbox"/> ループバイル    | <input type="checkbox"/> 第一種<br><input type="checkbox"/> 第二種 | <input type="checkbox"/> 500×500<br><input type="checkbox"/> [ ] | <input type="checkbox"/> 6.5<br><input type="checkbox"/> [ ] |      |
| <input type="checkbox"/> カットバイル    |  | <input type="checkbox"/> [ ]                                     | <input type="checkbox"/> [ ]                                 |      |
| <input type="checkbox"/> カット・ループ併用 |  | <input type="checkbox"/> [ ]                                     | <input type="checkbox"/> [ ]                                 |      |

帯電性  
 人体帯電圧 3kV以下(フリーアクセスフロア施設範囲)   
 全面接着工法による敷き方  
 平場:市松敷き 階段部分:模様流し  
 [ ]

- 12 合成樹脂塗床
- | 種別                                    | 仕上りの種類   |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 弾性ウレタン樹脂系塗床材 | <input type="checkbox"/> 平滑仕上げ <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ <input type="checkbox"/> つや消し仕上げ   |
| <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂系塗床材   | <input type="checkbox"/> 薄膜流し展べ仕上げ ( <input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑 )<br><input type="checkbox"/> 厚膜流し展べ仕上げ ( <input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑 )<br><input type="checkbox"/> 樹脂モルタル仕上げ ( <input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑 )<br><input type="checkbox"/> 防滑仕上げ |
| <input type="checkbox"/> 薄膜型塗床材       | <input type="checkbox"/> 平滑仕上げ   |

塗料のホルムアルデヒドの放散量  
 規制対象外  第三種

- 13 せっこうボード、その他ボード張り
- | 種類                                    | 記号    | 仕上げ等  | 部位 | 厚さ(mm)・規格等  |
|---------------------------------------|-------|---|----|---|
| <input type="checkbox"/> せっこうボード      | GB-R  |   | 壁  | <input type="checkbox"/> 12.5(不燃)<br><input type="checkbox"/> 15(不燃)<br><input type="checkbox"/> [ ]  |
|                                       |       |   | 天井 | <input type="checkbox"/> 9.5(準不燃)<br><input type="checkbox"/> 12.5(不燃)<br><input type="checkbox"/> [ ]                                      |
| <input type="checkbox"/> 不燃積層せっこうボード  | GB-NC | <input type="checkbox"/> 化粧無(下張り用)<br><input type="checkbox"/> 化粧有(トラバーチン模様)              | 天井 | <input type="checkbox"/> 9.5(不燃)<br><input type="checkbox"/> [ ]  |
| <input type="checkbox"/> 木目化粧せっこうボード  | GB-D  | <input type="checkbox"/> 木目<br><input type="checkbox"/> 柱目<br><input type="checkbox"/> 板目 | 天井 | <input type="checkbox"/> 9.5(準不燃)<br><input type="checkbox"/> 12.5(不燃)<br>幅 440mm程度<br>専用下地材付き  |
| <input type="checkbox"/> シーリングせっこうボード | GB-S  |   | 壁  | <input type="checkbox"/> 12.5(不燃)<br><input type="checkbox"/> 15.0(不燃)<br><input type="checkbox"/> [ ]                                      |
|                                       |       |   | 天井 | <input type="checkbox"/> 9.5(準不燃)<br><input type="checkbox"/> 12.5(不燃)<br><input type="checkbox"/> 15.0(不燃)<br><input type="checkbox"/> [ ] |
| <input type="checkbox"/> 強化せっこうボード    | GB-F  |   |    | <input type="checkbox"/> 12.5(不燃)<br><input type="checkbox"/> 15.0(不燃)<br><input type="checkbox"/> 21.0(不燃)<br><input type="checkbox"/> [ ] |

- けい酸カルシウム板  
 タイプ2(無糸綿)
- | 種類   | 特殊機能                | 色柄  | 厚さ                           |
|--|---------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル)<br>[旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))]<br><input type="checkbox"/> FT(被層ビニル床タイル)<br>[旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)] | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/> 2.0 |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物<br>または4.5 | <input type="checkbox"/>     |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止<br>耐動荷重<br>耐薬品 | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/>     |

- ロックウール化粧吸音板
- | 種類   | 特殊機能                | 色柄  | 厚さ                           |
|--|---------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル)<br>[旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))]<br><input type="checkbox"/> FT(被層ビニル床タイル)<br>[旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)] | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/> 2.0 |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物<br>または4.5 | <input type="checkbox"/>     |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止<br>耐動荷重<br>耐薬品 | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/>     |

- フラットタイプ(トラバーチン模様)
  - 凹凸タイプ
- | 種類   | 特殊機能                | 色柄  | 厚さ                           |
|--|---------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル)<br>[旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))]<br><input type="checkbox"/> FT(被層ビニル床タイル)<br>[旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)] | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/> 2.0 |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物<br>または4.5 | <input type="checkbox"/>     |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止<br>耐動荷重<br>耐薬品 | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/>     |

- 木質系セメント板(硬質木毛セメント板)
  - メラミン樹脂化粧板  
 JIS A6903Iによる
- | 種類   | 特殊機能                | 色柄  | 厚さ                           |
|--|---------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル)<br>[旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))]<br><input type="checkbox"/> FT(被層ビニル床タイル)<br>[旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)] | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/> 2.0 |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止                | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物<br>または4.5 | <input type="checkbox"/>     |
| <input type="checkbox"/>   | 帯電防止<br>耐動荷重<br>耐薬品 | <input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物           | <input type="checkbox"/>     |

- 軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材  
 シーリング材  
 ジョイントコンパウンド
- せっこうボードの目地工法  
 図示による  [ ]
- 14 壁紙張り

施工場所	壁紙の種類					防火種別					備考	
	紙系	織物系	ブラ	無機質系	その他	不燃下地	不燃石膏	準不燃下地	金属下地	難燃下地		

凡例:ブラ(プラスチック系)、不燃石膏(不燃石膏ボード下地)  
 :不(不燃)、準(準不燃)、難(難燃)を示す。

下地調整の種類  
 モルタル及びプラスター面  
 RA種  RB種  RC種

コンクリート面  
 RA種  RB種  RC種

せっこうボード面  
 RA種  RB種  RC種

壁紙のホルムアルデヒドの放散量  
 規制対象外  第三種

- 15 モルタル塗り  
 吸水調整材
- | 全固形分(%)    | 吸水量(g)    | 接着強度(N/mm <sup>2</sup> ) | 界面破断(%) |
|------------|-----------|--------------------------|---------|
| 表示値±1.0%以内 | 30分間で1g以下 | 1.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 | 50%以下   |
- 均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)  
 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 JIS A1404による試験

混合割合	凝集時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0 KPa/h

膨張性のひび割れ及びそりがなく、JIS R5201の試験9

既製目地  
 図示による  [ ]

床目地  
 設置する 工法  図示による  [改6.15.6(b)(3)]による  
 設置しない

- 16 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り  
 タイルの種類
- | 施工箇所 | 形状寸法(mm) | 吸水率による区分 |     |      | うわ薬 |    | 役物 |   | 色  |     | 汚泥<br>再生材<br>G | 耐薬害<br>性 | 滑り<br>抵抗性 | タイルの<br>品質等 |
|------|----------|----------|-----|------|-----|----|----|---|----|-----|----------------|----------|-----------|-------------|
|      |          | I類       | II類 | III類 | 無釉  | 施釉 | 有  | 無 | 標準 | 特注品 |                |          |           |             |
|      |          |          |     |      |     |    |    |   |    |     |                |          |           |             |

役物  
 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)

タイルの見本焼  
 行わない  行う

内装陶磁器質タイル  
 一般地仕様  寒冷地仕様

張り付け用材料					
既製調合モルタル					
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
		標準時	温冷繰返し後		
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

タイル張りの工法  
 内装タイルの張り付け工法  
 改良積上げ張り

タイルの試験張り  
 行わない  行う

伸縮調整目地の位置  
 図示による  [ ]

17 接着剤による陶磁器質タイル張り  
 タイルの種類

施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわ薬	役物	色	汚泥 再生材 G	耐凍害性 有 無	滑り抵抗性	タイルの品質等
		I類	II類	III類							

役物  
 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)

タイルの見本焼  
 行わない  行う

内装陶磁器質タイル  
 一般地仕様  寒冷地仕様(寒冷地域用)

接着剤のホルムアルデヒド放散量  
 規制対象外  第三種

18 断熱材

種類	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
<input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種b <input type="checkbox"/> 3種bA (スキム層付)	<input type="checkbox"/> 一般部 <input type="checkbox"/> 土層接地スラブ下地	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ]	ノンフロンのもの
<input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム	<input type="checkbox"/> A種1	<input type="checkbox"/> 断熱材補修部分 <input type="checkbox"/> 一般部	— <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25	ノンフロンのもの

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂等を用いた断熱材のホルムアルデヒド放散量  
 規制対象外  第三種

建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームの製造所  
 評価名簿による

不燃材  
 材種  炭酸カルシウム発泡板  [ ]  
 厚さ  25mm  [ ]  
 ※不燃認定が必要な場合は、製造所の仕様とする。

19 吸音材

材料	種類	厚さ(mm)	品質規格
<input type="checkbox"/> グラスウール	グラスウール吸音ボード 32K	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ]	

ボードの表面のガラスクロス JIS R3414 による EP18A程度

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂等を用いた断熱材ホルムアルデヒドの放散量  
 規制対象外  第三種

留付方法  
 インサルピン留め化粧ワッシャー押え  
 P.C.、ALCの場合はインサルピン化粧ワッシャー押え (@300.9.1本/m<sup>2</sup>)  
 ステンレスファスナー留め(壁、天井面8ヶ所/枚(910×1820相当))  
 樹脂製断熱材ファスナー留め 8ヶ所 (910×1820)

20 間伐材等  
 使用箇所  
 [ ]  
 間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。  
 室内の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量「(JAS規格による測定方法)」が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/L以下であること。

### 7章 塗装改修工事

1 塗装材料等  
 屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火性能に関する技術的基準に適合するものとする。  
 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量  
 規制対象外  第三種

2 下地調整  
 下地調整の種類 [改表7.2.1~7]

下地面の種類	下地調整の種類
木部	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
鉄鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input checked="" type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
モルタル面及びプaster面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
コンクリート面及びALCパネル面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
せっこうボード面及びその他ボード面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種

3 錆止め塗料塗り [改7.4.1~3]  
 塗料種類  
 鉄鋼面錆止め塗料 EP-G以外  A種 鉛・クロムフリーさび止めペイント1種  
 EP-G  B種

亜鉛めっき面錆止め塗料 EP-G以外  B種 変性エポキシ樹脂プライマー  
 EP-G  C種

4 塗装塗り [改7.4.2~7.13.1]改表[7.4.1~7.13.1]

塗装の種類	塗装面	工程		
		塗替え	新規	
<input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部(外部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ]	
	木部(内部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	
	鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種	
	亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	
	鋼製建具	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	
	フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)	屋内木部	[改7.6.2]	
		鉄鋼面	[改7.6.3]	
		亜鉛めっき鋼面	[改7.6.3]	
		屋内のコンクリート面・モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> B種
		アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	[改7.7.2]	[改7.7.2]

耐候性塗料塗り(DP)

鉄鋼面	塗替え	新規
<input checked="" type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> A種
	<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> B種
	<input type="checkbox"/> C種	<input type="checkbox"/> C種

[改7.8.1]

コンクリート面	塗替え	新規		
			<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種	<input type="checkbox"/> A種
			[18.7.4]	

[改7.8.4]

押出成形セメント板面	塗替え	新規		
			<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種	<input type="checkbox"/> A種
			[18.7.4]	

[改7.8.4]

つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ]
	屋内鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	屋内亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
(つづき) <input type="checkbox"/> つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	プaster面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	せっこうボード面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
<input type="checkbox"/> 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	塗装面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	コンクリート面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	プaster面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	せっこうボード面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
<input type="checkbox"/> 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	屋内コンクリート面・モルタル面	<input type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	プaster面・せっこうボード面・木部等	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種	[改7.11.2]
<input type="checkbox"/> ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	クリアラッカー塗り(CL)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
<input type="checkbox"/> ラッカーエナメル塗り(LE)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	オイルステイン塗り(OS)	木部	[改7.14.2]
<input type="checkbox"/> 木材保護塗料塗り(WP)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類  1種  [ ] [改7.4.2]

5 床用塗料塗り  
 材質  ウレタン樹脂系塗料  
 仕上種別  平滑仕上げ  防滑仕上げ (施工箇所 屋外鉄骨階段)  
 塗付量  プライマー塗りのうえ主材2回塗りとし、総塗付量は、プライマー塗りを含めて0.5kg/m<sup>2</sup>以上とする。

### 8章 耐震改修工事

1 鉄筋の種類  
 構造細目共通図による  [ ]

2 溶接金網  
 網目の形状寸法 鉄線の径 施工箇所  
 100×100  6.0 (JIS G 3551)  構造細目共通図による  
 [ ]

3 鉄筋の継手  
 構造細目共通図による  [ ]

4 鉄筋の最小かぶり厚さ  
 構造細目共通図による  
 塩害対策  
 必要としない  必要とする

5 帯筋  
 構造細目共通図による  [ ]

6 壁開口部の補強  
 構造細目共通図による  図示による

7 ガス圧接  
 圧接部の確認試験  超音波探傷試験  引張試験

8 コンクリートの材料  
 セメントの種類  
 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種  
 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210の規定に適合し、かつ、次の規定に適合するものとする。  
 水和熱が7日目で352J/g以下、28日目で402J/g以下とする。  
 早強ポルトランドセメント(JIS R5210)  
 高炉セメントのB種(JIS R5211)

骨材  
 砕石及び砕砂(JIS A5005)のアルカリシリカ反応性による区分  
 A  
 B アルカリ骨材反応抑制対策を行う  
 細骨材の塩分含有量(%)  
 0.04以下  [ ]

混和材料の種類  
 混和剤 JIS A6204 に適合するAE剤、AE減水剤及び高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。  
 また、防錆材を併用する場合はJIS A6205 に適合する防錆材とする。  
 混和材 JIS A6201 に適合するフライアッシュのI種、II種若しくはIV種、JIS A6206 に適合する高炉スラグ微粉末、JIS A6207 に適合するシリカフェーム又はJIS A6202 に適合する膨張材とする。

9 コンクリートの種類及び強度  
 レディーミクストコンクリートの類別  
 I類  II類  
 普通コンクリート

設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	施工箇所
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/>

10 コンクリートの品質  
 コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法  
 許容差  [改8.1.4(c)(1)(i)]による  図示による  
 測定方法  [改8.1.4(c)(1)(i)(2)]による  図示による

コンクリートの打放し仕上げ  
 合板せき板を用いる場合

種別	適用箇所
<input type="checkbox"/> A種	
<input type="checkbox"/> B種	
<input type="checkbox"/> C種	

コンクリートの仕上りの平坦さ  [改8.1.4]による  図示による

外部に面するコンクリート打放し仕上げ面の打増し厚さ(mm)  
 図示による

11 型枠  
 型枠(せき板)の種類  
 合板 塗装の有無  有(内部打放し・B・C種で、吹付け・塗装等を行わない面)  無(上記以外)

材種	仕様箇所
溶融亜鉛めっき鋼板	下記以外の円形スリーブ
つば付き鋼管	外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ
硬質塩化ビニル管	地中部分で水密を要しない部分のスリーブ
紙スリーブ	柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分

12 モルタル及びグラウト材  
 柱底等の均しモルタル  
 無収縮モルタル 製造所は、評価名簿による  
 グラウト材  
 無収縮グラウト材 製造所は、評価名簿による  
 構造体用モルタルの圧縮強度及びフロー値  
 図示による

## 建設副産物に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設工事に伴い副次的に得られる物品についての取扱い及び建設副産物実態調査に関する事項を定めるものであり、逗子市が発注する工事に適用する。

### I. 建設廃棄物の適正処理等に関する事項

工事の施工等にあたっては、まず建設副産物の発生抑制に努め、発生したものについては再使用、再生利用を徹底し、そして熱回収が可能なものは熱回収を行うことを基本として取り組むこととし、このための施工方法及び建設資材の選択等については積極的に提案すること。

#### 1. 施工前に取り組む事項

建設副産物の発生抑制、分別解体等、再資源化等の中心的役割を担うものとして、建設業法、建設リサイクル法その他の法令を遵守するとともに、発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備等を行うこと。

##### 《管理及び施工体制の整備》

- (1) 工事現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、廃棄物処理計画の作成に努めること。
- (2) 請負代金の額が 100 万円以上の場合には、次項Ⅱ. に基づき再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。特に建設リサイクル法に規定する対象建設工事(以下、「対象建設工事」という。)においては、契約前に発注者に提出した「説明書」を施工計画書に添付すること。
- (3) 再生資源利用促進計画書、再生資源利用計画書及び廃棄物処理計画書等の内容については、現場担当者の教育、協力業者に対する周知徹底と明確な指導を行うこと。

##### 《下請契約》

- (4) 工事の一部を下請発注し、生じる建設廃棄物を処理委託する場合は個別に直接処理委託契約をすること。
- (5) 分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担に努めること。
- (6) 対象建設工事にあつては、発注者に提出した「説明書」の内容を下請負人に告げるとともに、分別解体等の計画等に沿った施工、特定建設資材廃棄物の再資源化について指導を徹底すること。
- (7) 対象建設工事の下請契約には、建設業法による事項の他、分別解体等の方法、解体工事に要する費用、再資源化等をするための施設の名称及び所在地並びに再資源化等に要する費用を記載すること。
- (8) 解体工事を下請けさせる場合は、建設業法に基づく土木工事業、建築工事業又は解体工事業に係る許可業者(※)又は、建設リサイクル法に基づく解体工事業の登録業者に発注すること。ただし、解体工事業登録業者は請け負うことができる工事の規模に制限があるので注意すること。

##### 《事前調査等》

- (9) 対象建設工事においては、建設工事の着手に先立ち対象建築物等及びその周辺の状況、作業場所の状況、搬出経路の状況、残存物品の有無、付着物の有無等の調査を行うこと。
- (10) 調査結果に基づき、作業場所及び搬出経路の確保、残存物品の搬出や付着物の除去など適正な工事の実施を行うための措置を講ずること。

##### 《再生品の利用》

- (11) 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材について、利用用途に応じた品質等を考慮した上で、次の事例を参考とし、可能な限り利用すること。

ア、道路等の舗装の路盤材、建築物の砂利・砂・割り石等の材料は、原則として、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づく県のコンクリート塊等処理指定工場から再生砕石等を調達すること。ただし、再生砂(RC-10)の利用に当たっては、製造者側から試験結果報告書を入手し六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。なお、請け負った工事において再生砕石等を使用する場合は、上記要領に基づき、施工計画書に当該指定工場の材料試験成績書を添えて、建設リサ

イクル資材利用（変更）計画書を監督員に提出し承諾を受けること。

また、受注者は法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

なお、工事が完了したときは、上記要領に基づき、当該工事に使用した再生砕石等の使用数量を建設リサイクル資材利用報告書に再生骨材購入指定工場の納入証明を受け、監督員に提出すること。

イ、建築工事の内装材等及び道路舗装材には、「工事における環境配慮型公共工事の推進に関する特記仕様書」を参考に、パーティクルボードや再生加熱アスファルト混合物等の利用に努めること。

ウ、この他、コンクリート型枠材としてのパーティクルボード利用、法面の緑化材、雑草防止材等としての再生木質マルチング材等の利用を積極的に提案すること。

## 2、施工に関する事項

分別解体等及び建設資材廃棄物の処理等の過程においては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等の関係法令を遵守するとともに、アスベスト、CCA木材、フロン類、非飛散性アスベスト、PCB等の取扱いには十分注意し、有害物質等の発生抑制及び周辺環境への影響の防止を図ること。

### 《発生抑制》

(1) 端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択等について、次の事例を参考について、積極的な提案を行うこと。

ア、解体時において再使用が容易に行える施工方法の採用

イ、耐久性の高い建築物等の建築等

ウ、使用済コンクリート型枠の再使用

エ、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の現場内破砕による路盤材等への再利用

オ、建設汚泥の現場内での脱水、固化等して盛土材等への再利用

### 《分別解体等》

(2) 建設業者にあつては主任技術者（監理技術者）、解体工事業業者にあつては技術管理者を設置するとともに、工事の現場に標識を掲げること。

(3) 建設副産物を、次の区分に留意して、種類ごとに分別しつつ工事を施工するよう努めること。

ア、建設廃棄物と建設発生土

イ、一般廃棄物（飲料の空缶や弁当がら、剪定枝葉等）と産業廃棄物（伐木材・伐根材等）

ウ、特別管理産業廃棄物（飛散性アスベスト廃棄物等）と再資源化できる産業廃棄物

エ、安定型産業廃棄物（がれき類、廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず、ゴムくず等）と管理型産業廃棄物（燃え殻、木くず、廃石膏ボード等）

(4) 対象建設工事においては、分別解体等の計画等に定める、工事工程の順序、当該工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法により、現場において、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材をその種類ごとに確実に分別しつつ施工すること。

### 《再資源化等》

(5) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等、建設発生土は、再生資源利用促進計画書に基づき、再資源化施設等に搬入するとともに、再生資源の活用に努めること。

(6) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、原則として神奈川県のコンクリート塊等処理指定工場へ搬入すること。

(7) 建設発生木材等は、原則として神奈川県の指定事業者の指定施設へ搬入すること。

(8) その他の建設廃棄物（特定建設資材廃棄物以外の廃棄物、対象建設工事でない工事による建設廃棄物）についても、可能な限り分別解体等を実施し、再資源化等に努めること。

### 《適正処理》

(9) 廃棄物を処理する場合には、元請業者は、排出事業者として自らの責任において、廃棄物処理法等関係法令に基づき、可能な限り現場で減量化した後に適正に処理すること。

(10) 廃棄物の処理を委託する場合には次の事項に留意すること。

ア、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と各々委託契約すること。また、吹き付けアスベスト除去工事等に伴い発生する飛散性アスベスト廃棄物等の特別管理産業廃棄物はその専門業者に委託すること。

イ、適正な委託契約を行わない状況で、受託者が不法投棄等を行った時には、委託基準違反として委託者にも責任が及ぶことになるため、適正な委託費用をもって適切な委託契約を行い、併せて契約内容を確実に履行するよう関係者を指導監督すること。

ウ、産業廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、最終処分（再生含む）が完了したことを確認すること。

### 3、施工の完了後に関する事項

(1) 再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書を作成した工事にあつては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）と照合した上で実施状況を把握し、実施書を監督員に提出し、計画書とともに保存すること。

(2) 対象建設工事においては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）と照合して、特定建設資材廃棄物の再資源化が完了を確認したときは、速やかに「再資源化等報告書」を発注者に提出するとともに、再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存すること。

(3) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊については、当該工事で発生したコンクリート塊等の指定工場への搬入を完了したときは、速やかに指定工場の証明を受けて監督員に報告すること。

(4) 建設発生木材等については、当該工事で発生した建設発生木材等の指定施設への搬入を完了したときは、速やかに指定施設の証明を受けて監督員に報告すること。

(5) (1)から(4)の書類は、完成検査時の確認事項とするので、契約工期内に提出すること。

#### (参考)

- 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号）（令和 7 年 6 月 1 日改正）（建設リサイクル法）
- 特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進等に関する基本方針（平成 13 年 1 月 17 日 農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省告示第 1 号）
- 神奈川県における特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進等の実施に関する指針（平成 14 年 5 月 28 日 神奈川県告示第 366 号）
- 資源の有効な利用の促進に関する法律（平成 3 年法律第 48 号）（令和 5 年 4 月 1 日改正）（ラージリサイクル法）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）（令和 7 年 6 月 1 日改正）（廃棄物処理法）
- 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号）（令和 3 年 9 月 1 日改正）（グリーン購入法）
- 建設副産物適正処理推進要綱（平成 14 年 5 月 30 日改正）

## II. 建設副産物実態調査に関する事項

現場から発生する建設副産物についての発生量および再生資源利用量の実態把握について定める。

1、元請業者は、建設資材利用又は建設副産物発生・搬出を行う、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事（小規模工事等は除く）は、次項の建設副産物実態調査作業手順に基づき調査データを提出するものとする。

ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータ及び帳票は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」で定められた「再生資源利用{促進}計画書（実施書）の作成」を兼ねるものとする。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備考
搬入する 建設資材	コンクリート	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	
	砕石	
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する 建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材 A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材 B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト（飛散性）	
	その他の分別された廃棄物	
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土（建設汚泥を除く）		

2、建設副産物実態調査のコブリス・プラスの作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ  
<http://www.fkplus.jacic.or.jp/>から  
から建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）にログインする。  
システムの操作方法については、「トップページ」内の「コブリス・プラスでできること（動画）」、「コブリス・プラスの使い方」ページ内の「民間企業の方へ」「■工事の受注者の方へ」（1）及び、「■受注者向け（動画）」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。データ入力の際、データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコブリス・プラス上で監督員へ提出する。（監督員からコブリス・プラスで修正指示がある場合（提出状況欄が「問い合わせあり」の場合）は修正登録をする。）
- (3) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式（計画）を印刷し、監督員に提出する。
- (4) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコブリス・プラス上で監督員へ提出する。（監督員からコブリス・プラスで修正指示がある場合（提出状況欄が「問い合わせあり」の場合）は修正登録をする。）
- (5) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式（実施）を印刷し、監督員に提出する。
- (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「データ登録済み確認書」を印刷し、修正を要するエラーが出ていないことを確認の上、監督員に提出する。

### 3、データ入力上の留意点

- (1) 建設発生土の搬出がある場合は、「公共建設発生土処理に係る特記仕様書」を参照すること。
- (2) チェック結果及び「データ登録済み確認書」のチェック結果で確認が必要な事項に下記の項目がある場合は修正する。
  - 11.レンジオーバー  
（発生箇所：工事概要）  
請負金額の単位が「万円」であることを再確認し、桁間違いをしていないか確認のうえ、修正登録。
  - 20.現場内不整合  
（発生箇所：様式1土砂、様式2建設発生土）  
「様式1の土砂（現場内利用量）」＝「様式2の建設発生土（現場内利用量）」となるように修正登録。  
（発生箇所：様式1砕石、様式2コンクリート、アスファルト・コンクリート）  
「様式1の砕石（現場内利用量）」＝「様式2のコンクリート、アスファルト・コンクリート（現場内利用量）」となるように単位換算をした数値で修正登録。
  - 24.リサイクル率対象外  
（発生箇所：様式2コンクリート、様式2アスファルト・コンクリート）  
原則として、搬出先は県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場（再資源化工場）となるため修正登録。  
（発生箇所：様式2建設発生木材A、B）  
原則として、搬出先は県土整備局の指定事業者の指定施設（再資源化施設）となるため修正登録。  
（発生箇所：様式2建設発生土（第一種～第四種、浚渫土））  
原則として、搬出先は県指定受入地となるため修正登録。

## 逗子市の建築・土木工事に係る環境配慮指針

### 1.目的

市が発注する建築工事及び土木工事に關して、環境に配慮した施工方法の実施、建設廃棄物の削減及び熱帯材型枠の使用抑制を進めるための標準的な指針を定め、建築・土木工事に係る環境への負担を低減することを目的とする。

### 2.適用範囲

本指針の対象工事は、逗子市の建築・土木工事の発注物件に限る。

### 3.環境配慮手順

#### (1) 環境配慮型施工方法の採用

- 1) 建設公害防止のため、環境・建設関連法令を厳守し、工事に伴う公害防止を図る。
- 2) 騒音・振動・粉じんを抑制し、大気や水質の汚染防止に努めるため、低騒音・低振動・低排出ガス型作業機械を優先的に採用する。
- 3) 自然環境の保護や周辺環境との調和のために、地下水脈の保護、雨水浸透の推進及び緑化を推進する。

#### (2) 建設副産物対策

##### 1) 建設廃棄物の発生量の抑制

- ① 建設副産物の発生量、再利用率の把握及び報告  
施工計画書を作成し、確認を得たのち工事を施工する。また、建設副産物に係る特記仕様書に基づき関係各手続きにて報告する。
- ② 建設廃棄物の削減  
建設廃棄物削減のため、次号2)のリサイクル対策を推進するとともに、建設廃棄物の少ない施工技術及び施工方法の調査、研究を推進し、実施する。

##### 2) 建設副産物のリサイクル促進

「建設工事に係る資材の再源化等に関する法律」(平成12年法律第104号)を基本とし、実施すること。

- ① 建設発生土の再使用(リユース)
  - ・ 土地の掘削を伴う工事は、掘削土量の削減及び現場内利用を促進する。
  - ・ 他の部・課との資源化利用を図るため、協議・調整する。
- ② 建設副産物の再利用(リサイクル)
  - ・ アスファルトコンクリート塊、コンクリート塊の再利用を促進する。
  - ・ 廃ガラス、陶磁器片等の再利用を促進する。
  - ・ アルミニウムくず、鉄くず等の再利用を促進する。
  - ・ その他の再利用可能な建設副産物についても、積極的な再利用に努める。

(3) 建設廃棄物の適正処理

工事に伴う建設廃棄物は、廃棄物の減量化を進めるとともに、最終処分場の周辺住民及び周辺環境への影響を考慮し、適正処理を進める。

- 1) 建築・土木工事に関する課の工事監督員は、マニフェスト（出荷証明）等により、廃棄物の種類、数量、最終引受場所等の確認を行い、その廃棄物について、適正な処理がなされたことを証明する書類を保存する。
- 2) 建築・土木工事に関連する課の工事監督員は、計画地の土壌について、汚染の可能性がある場合には適切な処理を行う。
- 3) なお、汚染土や汚染処理土を処分する場合には、保管場所や運搬時における雨水の浸透や飛散の防止方法を講じる。

(4) 再生建設素材・資材等、環境負荷の少ない建設材の使用促進

高炉セメント、アスベストの含有量の少ない製品等、環境に配慮した素材の活用技術を調査・研究し、その使用促進を図る。

(5) 熱帯材型枠の使用抑制

型枠工事における熱帯材の使用を抑制することを努める。

- 1) コンクリート型枠工事を実施する課では、工事の発注にあたって、鋼製型枠等代替型枠の利用や熱帯材型枠の転用回数の増加などにより、熱帯材型枠の使用を抑制するよう受注者を指導する。
- 2) コンクリート型枠工事における型枠材の使用について、合板型枠以外の型枠及び非熱帯材合板型枠の使用を促進するための、施工技術及び施工方法の調査・研究を推進し、実施する。

## 施設計画策定にあたっての環境配慮手順書

### 1. 目的

市の建設する施設等から発生する環境負荷を低減するためには、施設等の計画段階から、環境への配慮を盛り込むことが必要である。施設計画策定にあたっての環境配慮のための標準手順を定め各種工事の施工計画書作成に考慮する。

### 2. 適用範囲

本手順書で対象とする計画は、次のものとする。

#### (1) 建築物等の建築計画

建築工事、給水施設、空気調和設備、電気設備とする。

#### (2) 道路、河川、公園、下水道等の土木工事計画

土工、運搬工、杭、矢板打工等、コンクリート工、舗装工、橋りょう下部工、地盤改良工、及びトンネル工とする。

### 3. 環境配慮項目

#### (1) 環境負荷の少ない工法の選択、建設廃棄物の削減、及び熱帯材型枠の使用抑制

#### (2) 新エネルギーや未利用エネルギーの活用、高効率機器の選定などの省エネルギー対策

#### (3) 再生建材の利用や雨水の活用などの省資源対策

#### (4) 敷地内、屋上、壁面等の緑化の推進

#### (5) 透水性舗装、雨水浸透柵の設置等による地下水の涵養対策

#### (6) 生態系の保全等の地域の自然環境との調和対策及び景観の保全、配慮

### 4. 環境配慮手順

建設副産物に係る特記仕様書に基づき施工計画書を作成し、確認を得たのち工事を施工する。

## 個人情報の取扱いに関する特記仕様書

この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）、逗子市情報セキュリティ基本方針その他関係法令等に基づき、次の事項を遵守して行うものとする。

### （基本的事項）

第1条 受注者は、この業務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵すことのないよう、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

### （秘密等の保持）

第2条 受注者は、この業務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他に漏らしてはならない。この業務が終了し、又は解除された後においても同様とする。

### （責任体制の整備）

第3条 受注者は、個人情報の安全管理について、内部における責任体制を構築し、その体制を維持しなければならない。

### （責任者等の報告）

第4条 受注者は、この業務に従事する者を明確にするため、個人情報の取扱いの責任者及び業務に従事する者（以下「従事者」という。）を定め、書面により発注者に報告しなければならない。これらを変更する場合も同様とする。

### （作業場所の特定）

第5条 受注者は、個人情報を取り扱う場所（以下「作業場所」という。）を定め、業務の着手前に書面により発注者に報告しなければならない。これらを変更する場合も同様とする。

2 受注者は、発注者の事務所内に作業場所を設置する場合は、責任者及び従事者に対して、受注者が発行する身分証明書を常時携帯させ、事業者名が分かるようにしなければならない。

### （再委託の禁止等）

第6条 受注者は、発注者が承諾した場合を除き、個人情報の処理は自らが行き、第三者（受注者に子会社（会社法第2条第3号に規定する子会社をいう。）がある場合にあっては、当該子会社を含む。以下同じ。）にその処理を委託してはならない。

2 受注者は、この業務の一部について再委託（再委託の相手方が行う再々委託以降の委託を含む。以下同じ。）する場合は、あらかじめ発注者の承諾を得なければならない。

3 受注者は、前項の承諾を得て第三者に再委託する場合は、この契約により受注者が負う義務を再委託先に対しても遵守させなければならない。

4 受注者は、第三者に再委託した場合、その履行を管理監督するとともに、発注者の求めに応じ、その状況等を発注者に報告しなければならない。

### （派遣労働者利用時の措置）

第7条 受注者は、この業務を派遣労働者に行わせる場合は、派遣労働者に対して、本契約に基づく一切の義務を遵守させなければならない。

2 受注者は、発注者に対して、派遣労働者の全ての行為及びその結果について責任を負うも

のとする。

(保有の制限等)

第8条 受注者は、この業務を処理するために個人情報保有する場合は、その目的を明確にし、目的達成のために必要最小限のものとし、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(安全管理措置)

第9条 受注者は、この業務を処理するために取り扱う個人情報の漏えい、き損、滅失、紛失、盗難その他の事故（以下「漏えい等の事故」という。）が起こらないよう、当該個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び第三者への提供の禁止)

第10条 受注者は、この業務を処理するために取り扱う個人情報を、発注者の指示又は承諾を得ることなくこの契約の目的以外に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写、複製の禁止)

第11条 受注者は、この業務を処理するために取り扱う個人情報を、発注者の指示又は承諾を得ることなく複写又は複製してはならない。

(持出しの禁止)

第12条 受注者は、この業務を処理するために取り扱う個人情報を、発注者の指示又は承諾を得ることなく作業場所から持ち出してはならない。

(罰則の周知及び従事者の監督)

第13条 受注者は、この業務の従事者に対し、個人情報保護法の義務及び罰則が適用されることについて周知するとともに、個人情報の安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行わなければならない。

(教育及び研修の実施)

第14条 受注者は、個人情報の保護及び情報セキュリティに対する意識の向上を図るため、この業務の従事者に対し、本特記仕様書において従事者が遵守すべき事項その他本委託業務の適切な履行に必要な事項について、教育及び研修を実施しなければならない。

(個人情報の返還又は廃棄)

第15条 受注者は、この業務を処理するため使用した個人情報について、使用する必要がなくなった場合は、速やかに、かつ、確実に返還又は廃棄しなければならない。

(事故発生時の対応)

第16条 受注者は、この業務を処理するために取り扱う個人情報の漏えい等の事故が発生し、又は発生したおそれがある場合は、直ちに発注者に報告し、その指示に従わなければならない。

2 受注者は、前項の漏えい等の事故が発生した場合には、被害拡大の防止、復旧、再発防止等のために必要な措置を迅速かつ適切に実施しなければならない。

3 受注者は、発注者と協議の上、二次被害の防止、類似事案の発生回避等の観点から、可能な限り当該漏えい等の事故に係る事実関係、発生原因及び再発防止策を公表するものとする。

(調査監督等)

第17条 発注者は、受注者における契約内容の遵守状況等について実地に調査し、又は受注者

に対して必要な報告を求めるなど、受注者の個人情報の管理について必要な監督を行うことができる。

2 受注者は、前項における報告について、発注者が求める場合には定期的に報告をしなければならない。

(指示)

第18条 発注者は、受注者がこの業務に関し取り扱う個人情報の適切な管理を確保するために必要な指示を行うことができるものとし、受注者はその指示に従わなければならない。

(契約解除及び損害賠償)

第19条 発注者は、受注者が本特記仕様書の内容に反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができるものとする。

## ダンプトラック等による過積載等の防止についての工事仕様書

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載をおこなっている場合は、早急に不正状態を解消するよう適切な措置を講ずること。
5. 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法（昭和42年法律第11号）の主旨に沿って、同法第12条に規定する団体等の加入者の使用を促進すること。
6. 下請負人がある場合に当たっては、以上のことについて十分指導すること。